

海の事故情報（七管区） 【速報値】(6月6日～6月12日)

令和4年6月16日

船の事故	発生日	発生日	船の種類	事故形態
	6月7日(火)	福岡県	作業船	浸水
	6月9日(木)	長崎県	旅客船	単独衝突
人の事故	6月12日(日)	福岡県	プレジャーボート	運航不能
	発生日	発生日	事故区分	事故内容
			人身事故発生無し	

【特集】機関故障はしょうがない！

【問合せ先】
第七管区海上保安本部交通部 安全対策課長 古場
安全対策調整官 川部
TEL：093-321-2931（内線2640）

過去10年間のプレジャーボート海難のなかで、運航不能(機関故障)が最も多く発生しています。しかし、機関故障の多くは発航前の検査や定期的な部品交換等で防ぐことができます。そうであるにもかかわらず、「機械には詳しくないし...」「時間がかかりそうで面倒だな...」と敬遠されがちです。今回の特集を機に、自己点検スキルを磨いてみませんか。



今回のテーマは

燃料油



◇燃料積んだからOK！ではありません！

燃料はご存じのとおり、船の運航するには欠かせません。出発地から目的地までの往復分と、目的地での行動分、そしてもう少し余分に燃料を積んで出港する...船乗りの基本です！

しかし、**燃料を積んでおけば、それで終わり！ではありません！**

燃料からごみ等を取り除くフィルターや、水分を取り除く油水分離器の**整備を怠ると、突然機関が停止し、航行不能に陥ります。**



洋上でトラブルを避けるために！今こそあなたの手で、目で、点検しましょう！

◇燃料フィルターの交換

燃料油は一見きれいに見えても、給油時に入ったごみや、最初から含まれている不純物等が入っています。

燃料フィルターはごみ、異物等の取り除き、エンジン内へ入ることを防ぐ役割を担います。**エンジン内へごみ等が入ると、燃烧不良や性能の低下の原因**になるため、濃茶色に汚れてしまった**燃料フィルターは交換**しましょう。



新品の燃料フィルター



汚れた燃料フィルター

◇油水分離器の整備

燃料油タンクの中に半分の燃料が入っていると、タンク内の半分は空気が入っています。その空気中の水分が結露して、水になり、燃料油内に混入します。**水が混入した燃料油がエンジンに入ると、故障の原因**

になります。

油水分離器は燃料油中の水分を取り除く役割があり、取り除かれた**水分は油水分離器下部**に溜まります。

定期的を確認し、溜まった水は捨てましょう。



底部に、溜まった水を抜くためのバルブがあるタイプが多いです！



必ず取扱説明書をよく読んでから作業してください！
少しでも整備に不安を感じたら必ず整備業者に相談・依頼しましょう！

